

佐瀨醉様 サセ 新聞記者、書家。文久二年江戸生れ、大正八年十月十日歿（二八三一九七）。本名得二。別號儘世翁、啞夢道人、心齋、醉様散人。書家佐瀨得所の次男。初の北海道で新聞記者。明治二十一年報知新聞社に入社して編輯に從事。煤瓶二十年のち書家として立ち、大正四年書畫筵を兩國美術俱樂部に開き盛況を博した。

著書 『當世活人畫』（一名名士と蘭秀）□（儘世翁名、明治二十一年六月）二十九日春陽堂）、『續當世活人畫』（一名名士と蘭秀）□（儘世翁名、明治二十一年十一月）二十一日春陽堂）、『續々當世活人畫』（名士の部）□（儘世翁名、明治二十二年四月十八日春陽堂）、『名流の面影』（儘世翁名、明治二十三年八月一日春陽堂）、『黄金世界』（啞夢道人名、明治二十五年十月一日春陽堂）等。